

鵜住居小学校 第1学年 特別活動（学級活動）学習指導案

日時 令和元年10月30日（水）5校時
場所 1年生教室
児童 29名
指導者 千葉 絵里香
金子 浩美（支援員）

1 単元名 「つなみ」ってなんだろう

2 単元の指導構想

本校の防災教育の目標の1つに、「実践を通して、子どもたちが防災について主体的に学び行動できる力を育てる」がある。また、低学年の重点目標は「避難の際には、教職員や近くの大人の指示に従って適切な行動をとれるようにする」である。それを受け本単元では、「津波の怖さ」や「津波の強さや速さ」の初歩的な内容について疑似体験等を通して学んでいく。津波についての正しい知識を身に付けることで、避難することの重要性を理解することができると思う。

子どもたちは1学期に、地震が起きた時の身の守り方や大雨や台風の時にどのような行動をとればよいのか学習してきた。鵜住居で生きていくうえで、特にも津波について知ることや災害時の適切な行動を身に付けておくことは必要不可欠である。「震災ゼロ世代」である子どもたちがこれから続いていく防災学習に関心をもって取り組んでいけるような土台をつくっていくとともに、発達段階に応じた災害に関する知識や判断力、行動力を身に付けさせていきたい。

3 単元の指導計画（5時間）

第1次 いろいろな「しぜんさいがい」についてしろう・・・・・・・・・・2時間

第2次 「つなみ」ってなんだろう・・・・・・・・・・2時間（本時第2時）

第3次 「てんでんこのうた」をうたおう・・・・・・・・・・1時間

4 本時の指導計画

(1) 目標

津波の強さと速さについて知り、すぐに避難することの大切さを理解することができる。

(2) 評価規準【知識・技能】

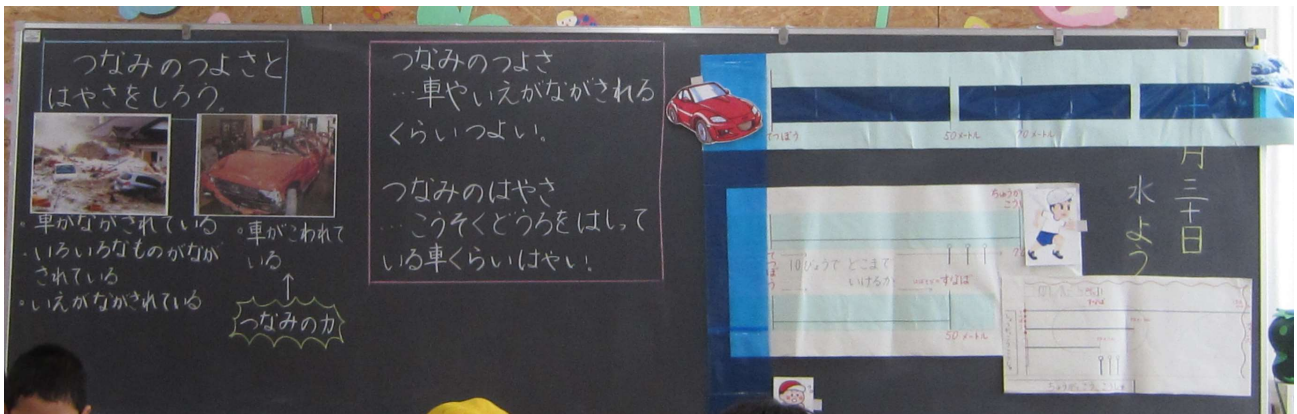
ねらいを達成している児童の姿	努力を要する児童への支援	評価方法
津波の強さと速さについて理解し、災害時にはすぐに避難しようとしている。	写真や映像の補足説明をしながら津波の怖さをイメージさせ、「怖かったらどうするか」を話させる。	全体での発表・学習シートによる評価 (発言内容・記述内容)

(3) 展開

段階	○学習内容 ・予想される子どもの反応	○支援	◇準備 ◆評価
導入 2分	1 前時の学習を想起して、学習課題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> つなみのつよさとはやさをしろう。 </div>	○前時に学習した「津波」と「波」の違いについて確認する。	
展開 35分	2 津波の流れの強さと速さについて理解を深める。 (1) 写真を見て気付いたことを発表する。 ・波が高い ・車が流されている ・家が流されている (2) 実験映像と写真を見て、津波の流れの強さを考える。 ・大人が流されている ・車がへこんでいる ・船がホテルの上まで上がっている (3) ペープサートを見て津波の速さについて知り、すぐに避難することの大切さを理解する。 3 学習をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> つなみのつよさ…いえやじどうしゃが ながされるくらい つなみのはやさ…はしているじどう しゃとおなじくらい </div>	○車や建物が簡単に流されてしまうほど津波の流れは強いことをおさえる。 ○車を変形させたり、大きな船を押し上げたりするほど津波の流れは強いことを確認する。 ○ペープサートを動かして見せ、1年生の児童でも「津波の速さ」をイメージできるようにする。 ○板書をもとに、本時の学習を振り返る。	◇写真 ◇写真 ◇電子黒板 ◇ペープサート
	4 津波がくるとわかったらどう行動するか考える。 (1) 学習シートに記入する。 ・揺れがおさまったらすぐ逃げたい ・高いところに逃げたい (2) 考えたことを班で交流する。	○書き出しに続けて津波が来るとわかった時の自分の行動を書かせる。また、なぜそうするのか理由も書かせる。	◇学習シート ◆津波の強さと速さについて理解し、災害時にはすぐに避難しようとしている。
終末 8分	5 本時の振り返りをする。	○授業でわかったことをもとに、家族に教えたいことを書かせ、全体で交流する。	◇学習シート

5 子どもたちの感想

- ・1ねん生よりも6ねん生よりも つなみのほうがはやいことがわかりました。おうちの人に たいさくをしてもらって、できるだけはやく ひなんじょに にげたいです。
- ・つなみは10びょうで中学校のやきゅうのフェンスまで いくくらい はやいことが わかりました。つなみがくるまえに にげなきゃ しんじょうから、くると わかったら すぐにげたいです。
- ・つなみは、おそろしいはやさで きて、車がながされるくらい つよいことが わかりました。じゅんぴをして はやくにげたいです。
- ・つなみは、車やいえをながすくらい つよいことがわかりました。つなみは、みんなよりも はやいから、はしっても はしっても にげきれないことも わかりました。つなみがくるまえに、すぐにげたいです。
- ・つなみは、こうそくどうろを はしってる車と おなじくらい はやいことがわかりました。車もかわれるし、いえもながされます。つなみは とてもこわいので、すぐに にげたいです。



6 参加者の主な感想

- ・1年生の授業で、津波の高さ、速さがペープサートなどでとてもわかりやすかったです。命を守るために真剣に学ぶ姿がすばらしかったです。
- ・津波のおそろしさについて分かっているつもりでも、高くて速い波がかたまりで襲ってくることを知ることが大事だと思いました。1年生の子にも走る速さと比較したことが分かりやすかったと思います。
- ・1年生の子どもたちが津波について「かたまりでくる」「高い」「速い」などのキーワードを使って説明していて、これまでの学習が他人事ではなく自分事としてちゃんととらえていることがわかりました。「おうちの人に伝える」というのがとてもいいなと思いました。
- ・3月11日の大震災について、どこまでふれていいのか、やはり悩むところがありましたが、“震災ゼロ世代”の子どもたちと、釜石のよさを語り合い、正しい知識を教えていくことの大切さを感じました。

7 指導を終えて

〈成果〉

- 1年生なりに「津波」について“自分ごと”として真剣に考えていた。
- 前時に移動式黒板にブルーシートをかけ、津波の疑似体験をさせたこともあり、「津波はかたまりでくる」ということを覚えていて、スムーズに本時の学習に入ることができた。
- ペープサートが効果的だった。視覚的に「強さ」と「速さ」をとらえさせることができた。
- ふり返りを「おうちの人におしえてあげたいこと」としたことで、学習した知識を自分の言葉でまとめることができていた。

〈課題〉

- ▲ 津波がくるとわかった時の行動を考えると、「この時間で学習したこと」を使う、ということが曖昧だった。
- ▲ 「速さ」をよりとらえさせるためには、自動車の模型を使用してもよかったかもしれない。